

○帯広畜産大学学術研究報告投稿原稿の作成方法に関する申合せ

(平成19年2月6日 学術研究報告編集委員会申合せ)

改正 平成19年6月4日 平成24年10月24日
平成26年3月11日

1 この申合せは、国立大学法人帯広畜産大学学術研究報告投稿規程第4条の規定に基づき、帯広畜産大学学術研究報告に投稿する原稿の作成方法について、必要な事項を定める。

(作成及び提出)

2 原稿の作成及び提出方法は、次のとおりとする。

(1) 原稿は、和文又は欧文とし、別紙見本を参照のうえ作成するものとする。

(2) 原稿は、パソコンで作成したUSB等電子媒体とプリントアウトした原稿1部に学術研究報告原稿提出書(別紙様式1)及び許諾書(別紙様式2)を添えて4月末日までに学術研究報告編集委員会に提出するものとする。なお、USB等電子媒体は、登載後著者に返却するものとする。

(記述方法)

3 原稿の記述順序は、次のとおりとする。

(1) 自然科学

イ 和文：表題／(副表題)／著者名／摘要／キーワード／本文／参考文献等／欧文表題／ローマ字著者名／所属(括弧書き)／欧文摘要／脚注(必要ページに記載する)等

ロ 欧文：表題／(副表題)／著者名／摘要／キーワード／本文／参考文献等／和文表題／著者和名／所属(括弧書き)／和文摘要／脚注(必要ページに記載する)等

(2) 人文・社会科学

おおむね「自然科学」の記載方法に準ずるが、摘要等は省いても構わない。

4 キーワードは5語以内とし、提出論文の言語で摘要の後につける。選択する語及び並べ方は、各専門分野の慣例に従う。

5 動物の飼育及び実験については、それぞれの機関の動物実験に関するガイドラインにしたがって行ったことを示す。それが不可能な場合は、動物倫理に十分な配慮が払われたことを明記する。組換えDNA実験については、実験を行った研究機関の組換えDNA実験に関するガイドラインにしたがって操作・管理を行ったことを示す。

6 図表等は、6～30cm×6～30cm程度の大きさで太めに描き、横の長さの縮尺を指定する(自然科学はプリントアウトした原稿で横の長さ7cm又は14cmが望ましい)。なお、図表等には複写図を添え、図の文字や指示は複写図の方に記入する。ただし、文字等も含めて原図のまま表示する必要がある場合にはこの限りでない。

7 写真は、鮮明でコントラストの良いものを用い、この場合の縮尺も図表に準ずる。

8 図表等は、本文と別にまとめ、本文への挿入個所はプリントアウトした原稿の欄外に朱記する。

9 用語、用字などの用法は、各専門分野の慣例に従う。

10 引用文献の記述等は、次のとおりとする。

(1) 本文中の引用箇所には著者姓と年号を、または著者姓の後に年号を括弧付

きで示す。著者が2人以上の連名のときは筆頭著者以外を“ら”または“et al.”と略記する。同一括弧の中に複数ある場合は年号の古い順とし、同じ年号の場合は五十音順またはアルファベット順とする。

(例) …報告した(山田2001)。…報告されている(山田2001;鈴木ら2002)。山田(2001)は…。山田(2001)と鈴木ら(2002)は…。…reported (Yamada 2001). …reported (Yamada 2001; Suzuki et al. 2002; Tanaka et al. 2003). Yamada (2001) reported … Yamada (2001), Suzuki et al. (2002) and Tanaka (2003) reported …

(2) 引用文献の一覧は次のように作成する。

イ 雑誌に掲載された文献の記載は、著者名(全員)、発行年、表題、雑誌名(略さない)、巻、開始頁—最終頁の順とする。

(例) 十勝太郎, 帯広花子, 稲田次郎. 2001. ウシの消化性におよぼす気候の影響. 北海科学雑誌12:34-56 Tokachi T, Obihiro H, Inada J. 2001. Influence of the climate on the bovine digestibility. Journal of Hokkai Science 12:34-56

ロ 単行本の記載は、著者名、発行年、書名、版、引用頁、発行所、発行地の順序とする。分担執筆の場合は表題名ならびに編集または監修者名を加える。

(例) 十勝太郎, 帯広花子. 2001. 稲田次郎編, 北海科学, 第2版, pp.12-34, 畜大出版, 帯広 Tokachi T, Obihiro H. 2001. Influence of the climate on the bovine digestibility. Inada J (ed), Hokkai Science, 2nd ed, pp.12-34, Chikudai Press, Obihiro.

ハ 文献一覧の登場順は、筆頭著者の姓を和名欧名ともにアルファベット順に並べる。同一筆頭著者による複数の文献がある場合は、単著論文を初めにおき、次に複数著者文献を第2著者以降の著者名のアルファベット順に並べる。さらに同一複数著者の場合は発表年順にする。同一著者で同一発表年の文献を引用する場合には、発表年の末尾に小文字のアルファベットを付け、一覧に登場した順で本文中に引用する。

ニ 社会科学分野の論文における引用文献記載方法は当該専門分野の慣例による。

11 国語及びローマ字の表記については、できるだけ新表記法によることが望ましい。

12 特殊な専門語あるいは区別の紛らわしい文字等には、プリントアウトした原稿に鉛筆で注記する。

附 記

この申合せは、平成19年2月6日から実施する。

附 記(平成19年6月4日)

この申合せは、平成19年6月4日から実施し、平成19年4月1日より適用する。

附 記(平成24年10月24日)

この申合せは、平成24年10月24日から実施する。

附 記(平成26年3月11日)

この申合せは、平成26年3月11日から実施する。

別紙見本(第2項関係)

別紙見本

[別紙参照]

別紙様式1(第2項関係)

学術研究報告原稿提出書

[別紙参照]

別紙様式2(第2項関係)

許諾書

[別紙参照]